

平成22年香美市消防出初式が1月10日、香北町の吉野多目的運動広場で開催され、市内の消防団員と香美市消防署員ら総勢280人が参加しました。

式では、団員の表彰に続いて、人員および服装点検、機械器具点検、分列行進などを行い、参加した団員らは防災への決意を新たにしていました。

この日表彰された方々は、次のとおりです。（敬称略）

○功績章（10年以上勤続し、かつ分団長以上の職に5年以上勤務した方）

■土佐山田消防団

▽山地正明（山田分団・分団長）▽上村尚範（片地分団・分団長）

○精勤章（品行方正で勤務成績が優秀で他の模範となると認められた方）

■土佐山田消防団

▽矢野公昭（岩村分団・副分団長）▽岡林義幸（繁藤

決意新たに 消防出初式



分列行進



機械器具点検

分団・副分団長）

■香北消防団

▽岡村優一（西川分団・副分団長）

■物部消防団

▽新橋則男（大栃分団・班長）

○勤続章（15年以上勤続した方）

■土佐山田消防団

▽大石哲也（楠目分団・部長）▽石川純生（明治分団・班長）▽小川晃（佐岡分団・団員）

■香北消防団

▽山中秀和・大倉康正（西川分団・団員）▽森本純二（猪野々分団・団員）

■物部消防団

▽小松無事生（五王堂分団・団員）

1月9日、10日の両日、県立青少年センター（香南市）を主会場に、工科大・山田高校・山田小学校など県内14会場で第11回四国近県交歓小学生バレーボール大会（アンパンマンカップ）が開催されました。この大会は、香美スポーツ少年団香北バレーボールクラブを中心としたアンパンマンカップ実行委員会（五百蔵隆実行委員長・香北町在住）が主催し、毎年開催している大会で、小学生の大会としては西日本最大の大会です。今回の大会には、四国・中国・近畿地方から205チーム約2,000人が参加し熱戦を繰り広げました。右下の写真は、選手宣誓をしている藤本みのり選手（片地小6年）。

2,000人が参加 アンパンマンカップ開催！



開会式



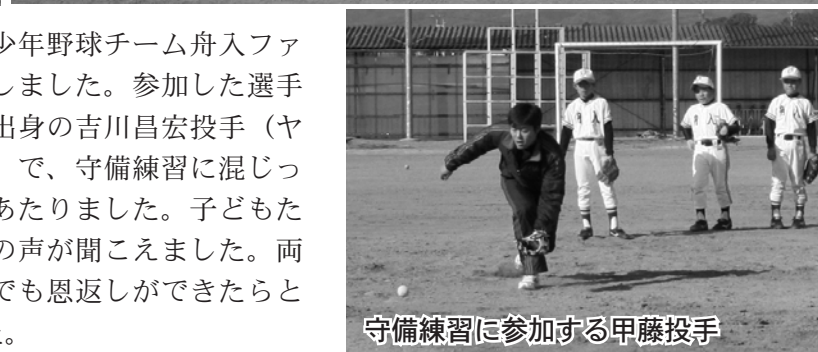
選手宣誓

プロ野球選手 母校で交流



バッティング指導を行う吉川投手

1月4日、舟入小学校グラウンドで、少年野球チーム舟入ファイターズの練習に、プロ野球選手が参加しました。参加した選手は、舟入小学校卒業・舟入ファイターズ出身の吉川昌宏投手（ヤクルト）・甲藤啓介投手（ソフトバンク）で、守備練習に混じったり、ロングティーを行い後輩の指導にあたりました。子どもたちからは、プロ野球選手との練習に喜びの声が聞こえました。両投手は、「育ててもらったチームに少しでも恩返しができたらという思いできています」と話していました。



守備練習に参加する甲藤投手

1月31日、片地小学校で『ふれ愛かたじ』が開催されました。

この行事は毎年、地域と学校の交流を目的に行われており、今回高知こどもの図書館（高知市）の10周年記念事業の一環として作成された巨大絵本による読み聞かせが行われました。

『ずんずくずん』と題した絵本は1.8メートル四方で全20ページ、重さも約80キロというビッグサイズで、土台となる表紙と裏表紙には、高知県産の杉とヒノキが、各ページには土佐和紙が使われています。

子どもたちは大きな絵本の登場に、手を上げて喜んでいました。



グラウンド・ゴルフ協会 車椅子寄贈



1月13日、プラザ八王子で高知県グラウンド・ゴルフ協会（古井正明理事長）から車椅子5台（子ども用1台含む）が市社会福祉協議会と香美市へ寄贈されました。

これは、「グラウンド・ゴルフができない人とも自分たちの喜びを分かち合いたい」という思いから、（社）日本グラウンド・ゴルフ協会が全国的に行っているもので、ホールインワンを出した方に100円の募金をいただき、その積立金で寄付活動を行っています。

当日、同協会へ、市長と市社会福祉協議会長の連名の感謝状が贈られました。